
うっかりうさちゃん

源雪風

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

うつかりうさちゃん

【Nコード】

N4262Q

【作者名】

源雪風

【あらすじ】

うさちゃんが本当の自分に気がつく

うさちゃんは自分のことをねずみだと思っています。

なぜならずつと穴の中に住んでいるため、一度も自分の姿を見たことがないからです。

穴の中は安全です。食べ物親が持ってきてくれます。

両親は耳が小さいうさぎですから、うさちゃんは両親のこともねずみだと思っています。

でも両親に「ねずみだね」と言っていないので、誤解は正されません。ままです。

うさちゃんは穴から出て独り暮らしすることになりました。

うさちゃんの目の前には、広い原っぱが広がっています。

思い切り走ると、池を見つけました。

そこには、うさちゃんの姿が映っています。

うさちゃんが思っていたのと、全く違う姿です。

うさちゃんはびっくりして腰を抜かしてしまいました。

今まで自分をねずみだと思っていたことが怖くなりました。

とにかく池の水を飲んで、落ち着いてみました。

「ねずみだろうと、うさぎだろうと、わたしだってことは変わらない。別にうさぎだっていい。ジャンプが上手だし、ねずみより楽しく暮らしていけるかも」

うさちゃんはうれしくて高く高くジャンプしました。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4262q/>

うっかりうさちゃん

2011年10月6日01時07分発行